



2023年11月 現在

Fujitsu Software

Interstage Charset Manager Standard Edition V10.1.0

本商品は、外字を含む日本語資源を一元管理することにより、スムーズな文字流通を実現する基盤商品です。文字コードに関する、流通から表示・入力・印刷までをトータルに支援します。本商品は、以下の機能を提供しています。

- ・業務ごとの日本語資源(外字、コード変換テーブル、入力用辞書)、印刷資源の一元管理/適用
- ・日本語資源の配付

また、Interstage Charset Managerの製品群を組み合わせることにより、外字申請運用モデルを提供することができます。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ クライアント

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- サーバ

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 8.1(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) /
Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

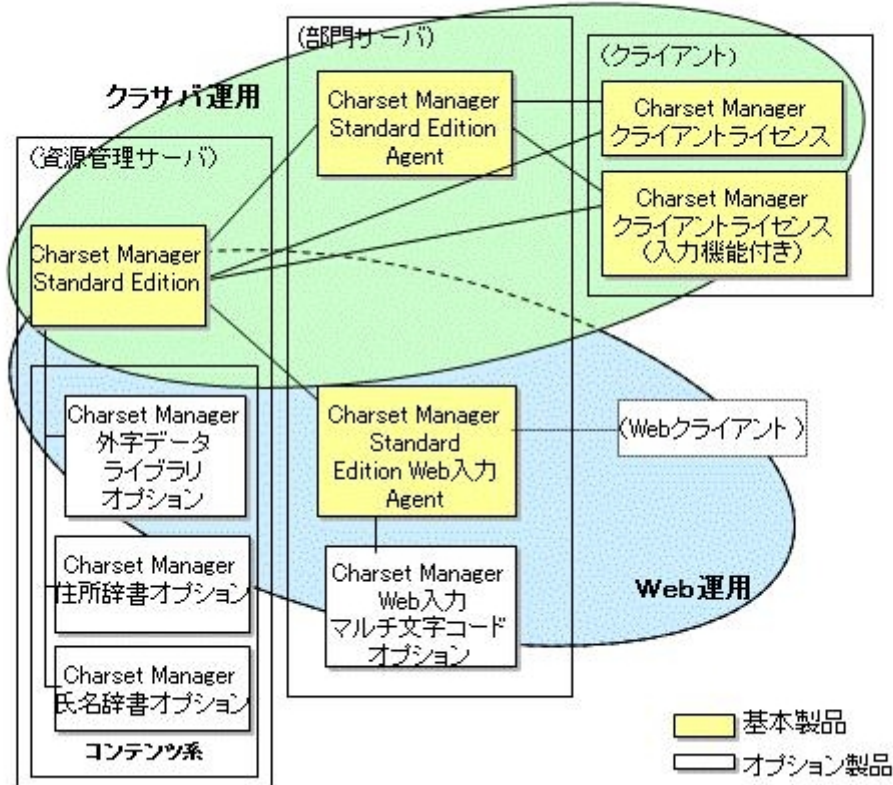
- クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit)

1. Interstage Charset Manager Standard Edition V10の商品体系

Interstage Charset Manager商品には適用する業務システムの形態に応じて、Web運用とクラサバ型運用の2種類の商品体系があります。本商品では、それぞれの商品体系について複数の業務における日本語資源(外字、コード変換テーブル、入力用辞書)を一元管理します。

商品体系



2. 日本語資源管理/適用機能

各業務に応じた外字の管理およびクライアントから入力する際に使用する入力辞書の管理を行うための以下の機能を提供します。

(1) 既存外字(含他社外字)のWindows外字への移行

グローバルサーバ、ASP等の既存外字、および他社外字を一元管理し、これらの既存外字をUNIX、Windowsの外字に移行することができます。Unicodeの外字にも対応しています。

本機能では、外字形式の変換と外字コードの対応付けが簡単な操作で実現できます。

〔各システムの文字コード体系と利用可能な外字数〕

グローバルサーバ、ASP :JEFコード体系(3102字)

UNIX :EUCコード体系(940 字/3102字)

Windows :シフトJISコード体系(1880字)、Unicode(6400字)

他社ホスト :JIPS(3948字)、KEIS(3008字)、DBCS-Host(4307字)

(2) システム共通の外字エディタ

外字形式や利用できる文字サイズは、それぞれのシステムで異なります。本エディタは、(2)で移行した文字品質を高めるためのもので、当社がサポートする全システムの外字を編集/新規作成することができます。

新規に作成した外字に対して、「読み」、「画数」等の属性情報を付加することができます。付加した属性情報は入力辞書として管理します。入力辞書をクライアントのIMEに登録することにより外字入力の作業効率を大幅に向上できます。

(3) 日本語資源の適用

移行または新規に作成した外字および入力辞書を、運用形態に合わせアプリケーションサーバ、クライアントに配付し適用することができます。配付手段は、本商品の配付機能、ファイル転送による配付またはSyst emwalker Centric Managerによる配付が可能です。

3. 外字申請運用モデル

外字申請運用モデルとは、窓口業務などで外字が必要となった場合に、外字を探して使えるようになるまでの外字運用のワークフロー（文字検索 日本語資源管理に登録 配付 適用）について作業手順を定めたものです。

Interstage Charset Managerの製品群を組み合わせることにより、簡素化した外字申請運用モデルを構築することができます。

申請されてから窓口業務で外字として利用可能になるまで、これまで数日かかっていた作業が数分で可能になります。

4. 印刷資源管理/適用機能

これまで、フォームオーバーレイやFCB (Forms Control Buffer) 等の印刷資源は、各利用商品毎に管理体系が異なるため、同一資源を重複して管理していました。本機能では、これらの統一化を図るための共通な管理機構を実現します。

5. クライアントでの文字入力支援機能

Charset-入力アシストを利用することで、文字入力の際に外字を簡易に入力したり、入力文字を業務での運用文字コード範囲内に抑止したりすることができます。Charset-入力アシストには、最新のIMEフレームワーク(TSF: Text Service Framework)を採用したCharset-入力アシスト V10と、旧フレームワーク(IMM: Input Method Manager)を採用したCharset-入力アシスト V9があります。

本機能を使用するためにはクライアントライセンス(入力機能付き)が必要になります。

(1) 外字の単漢字検索(Charset-入力アシスト V9/V10)

「手書き部品」「よみ」「部首」「画数」により外字を検索して入力することができます。従来のようにコードブックを参照しながらコード値で入力する必要がありません。

(2) 外字を含む語句のかな漢字変換候補表示/入力(Charset-入力アシスト V9/V10)

各端末ごとに別途単語登録をする必要なく、かな漢字変換の入力候補として外字を含む語句も表示され、入力することができます。

(3) 入力文字コード範囲の抑止機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

入力可能な文字を業務システムでの運用文字コードの範囲内に制限することが可能です。

(4) JEF文字入力機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

JEF固有文字の入力ができます。JEFコード値での入力も可能です。

(5) 優先候補の切替機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

かな漢字変換において、人名を優先して変換するモード、地名を優先して変換するモードに切り替えて使用することが可能です。

(6) 業務アプリ連携部品(Charset-入力アシスト V9)

本商品が提供するインターフェイスを利用することにより、業務アプリ上の入力フィールドにおける文字入力機能を制御することができます。

例えば、各入力フィールド毎に、変換用辞書セットを切り換えたり、フォーカスが移動した際に自動的に日本語入力を有効にする、といったことが可能になります。

(7) JIS2004文字運用(Charset-入力アシスト V9/V10)

JIS3/4水準の一部の文字(Unicodeの1面以降に割り当てられた文字)が入力できます。

6. 標準コード変換機能

クライアントまたは各種アプリケーションサーバに必要なコード変換機能を提供しています。本コード変換では、シフトJIS, Unicode(UCS2, UTF-8, UTF-16, UTF-32), EUC, JIS, JEFおよび他社ベンダコードとして、DBC-Host (IBM), JIPS(NEC), KEIS(日立)のコード変換が可能です。

文字コード変換表や変換仕様に定義されている情報をもとに、文字コードの変換結果を確認する「文字コード変換見える化ツール」を提供しています。本ツールにより、コード変換の組合せごとに、変換の可否、字形、カスタマイズ状態を確認できます。

さらに、1バイト系の対応定義、重複する対応定義など、これまで関数呼出しでのみ提供していた変換規則の変更を外部からも変更できるように、変換拡張定義機能を追加しました。

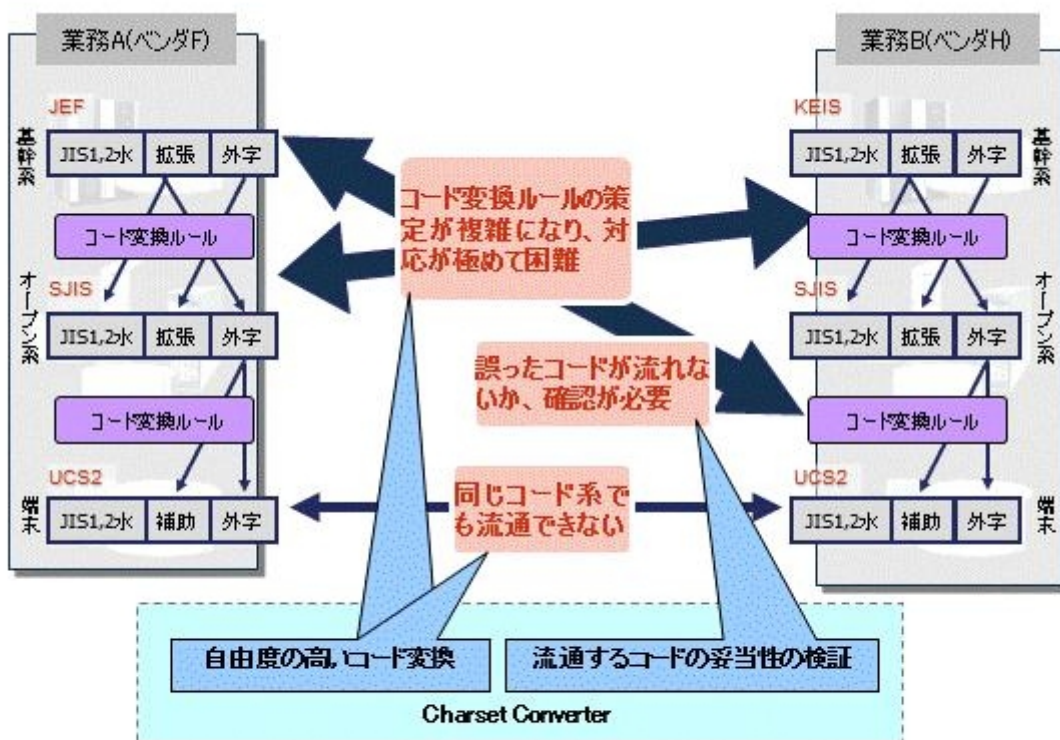
7. 拡張データ変換機能

1レコード中の数値と文字の混在したデータをレコード単位でデータ変換します。本変換機能には、数値データ変換と文字コード変換の2つの機能を持ちます。本コード変換では、シフトJIS, Unicode(UCS2, UTF-8), EUC, JEFおよび他社ベンダコードとして、DBC-Host (IBM), JIPS(NEC), KEIS(日立)のコード変換が可能です。

8. 自由度の高い文字コード変換(コンバーター)機能

コード変換テーブルを流通のしやすい形式(CSV形式)で提供したり、同一文字コード間での変換にも対応するなど、より柔軟なコード変換機能(Charset Converter)を提供します。

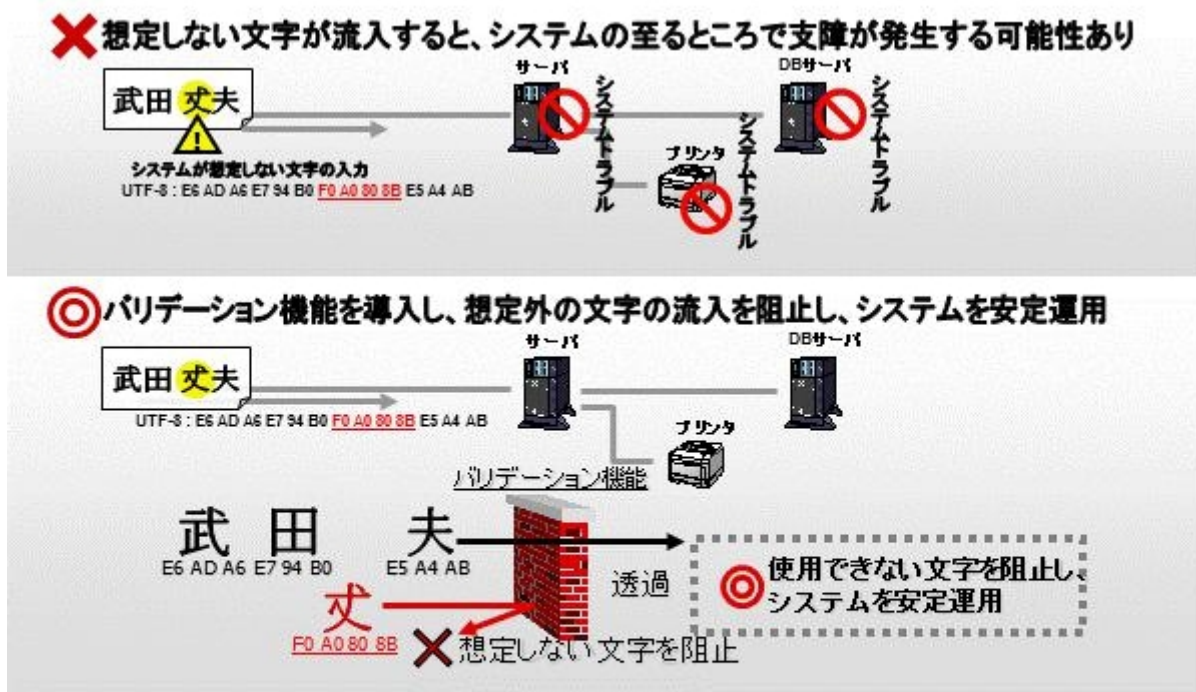
業務システム間のコード変換を支えるCharset Converter



9. 入力文字コードの判定(バリデーション)機能

本商品を導入した業務システムにおいて有効/無効とする文字コードを定義し、それによって入力される文字が有効か無効かを判定する機能 (Charset Validator) です。この機能を業務システムに組み込み、入力された文字コードをチェックすることで、システムが想定しない文字コードを抑止するなど、適切な処理を行うことができます。

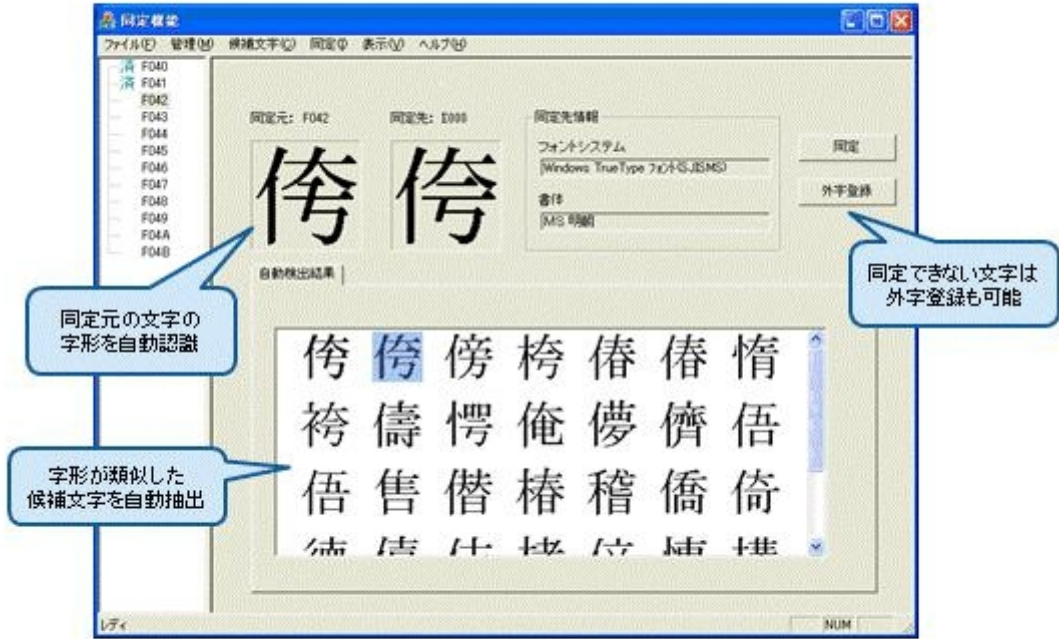
バリデーション機能が解決する問題



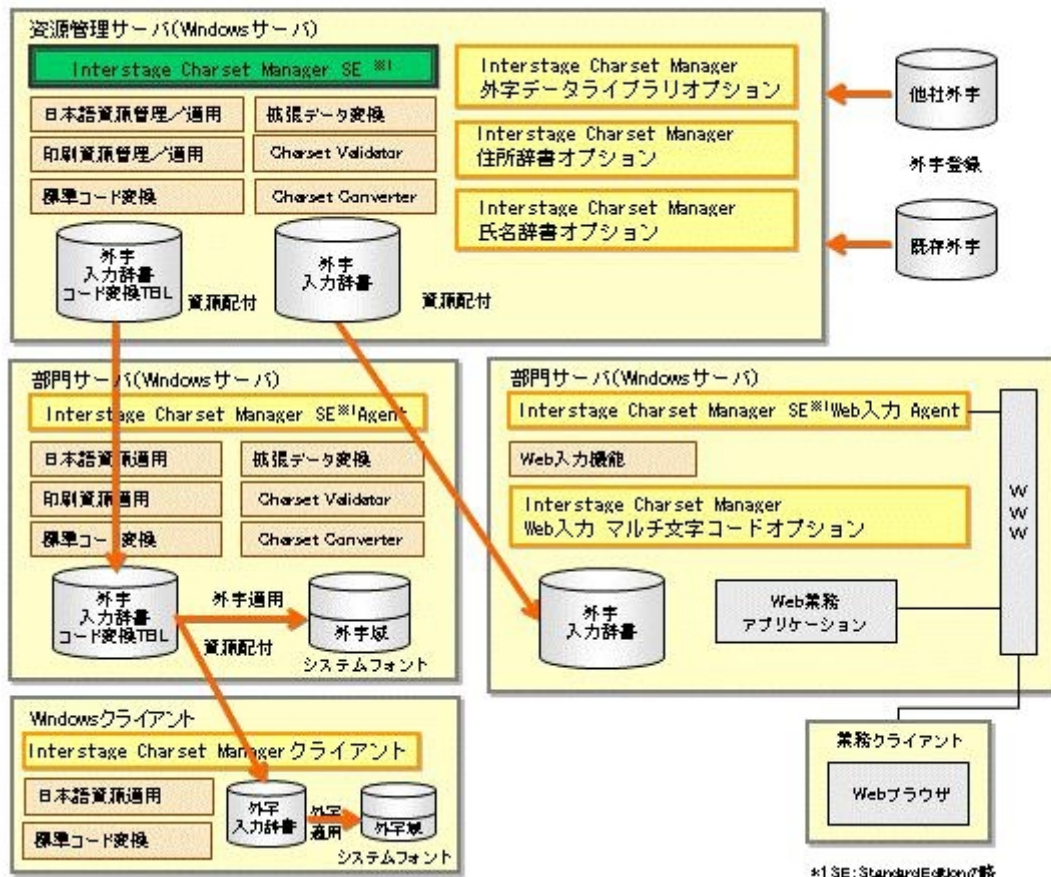
10. 文字同定機能

システム移行やシステム統合の際には、文字コード変換を行うための策定作業に多くの手間と時間を要します。

本機能では、OCR技術により文字の字形から類似文字を自動的に抽出し、文字コードの対応テーブルを自動生成します。



システム/機能構成図



V10.0.0からV10.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Charset-入力アシスト V10の提供

テキストサービス(TSF: Text Services Framework)に対応したCharset-入力アシスト V10を提供します。

・ オンラインマニュアル

- Interstage Charset Manager V10 概説書
- Interstage Charset Manager V10 インストールガイド
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 日本語資源管理編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 日本語資源適用編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 印刷資源運用編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 標準コード変換編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 拡張データ変換編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 入力機能編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 入力機能 IMM編
- Interstage Charset Manager V10 システム構築ガイド バリデーション編
- Interstage Charset Manager V10 システム構築ガイド コンバーター編
- Interstage Charset Manager V10 トラブルシューティング

【メディア】

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition メディアパック (64bit) V10.1.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Charset Manager 1クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Charset Manager 20クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Charset Manager 1クライアントライセンス(入力機能付き) for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Charset Manager 20クライアントライセンス(入力機能付き) for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage Charset Manager 1クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage Charset Manager 20クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage Charset Manager 1クライアントライセンス(入力機能付き) for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage Charset Manager 20クライアントライセンス(入力機能付き) for Windows (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. クライアントライセンスについて

外字を登録する機能、外字を「よみ」や「手書き部品」から検索する機能を利用したいクライアント数分のライセンスを購入してください。

本商品のクライアントライセンスには2種類あります。運用に応じてクライアントライセンスまたは、クライアントライセンス(入力機能付)を購入してください。

- ・クライアントで外字を表示・印刷する場合、または外字を含む単語辞書を作成してかな漢字変換ソフトのユーザ辞書へ取り込んで運用する場合は、クライアントライセンスを購入してください。
- ・クライアントで「よみ」や「手書き部品」、「部首」、「画数」などの属性情報を利用して外字を入力する場合、または入力可能な文字を業務の運用文字コード範囲内に抑止する運用を行う場合は、クライアントライセンス(入力機能付き)を購入してください。

4. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

5. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SE にお問い合わせください。

6. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載しません。

【V10.1.0】

[サーバライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) お客様は、対象プログラムにおいて「Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション」を使用して作成したフォントデータを、以下の製品の使用許諾されているコンピュータならびに当該コンピュータにネットワーク接続されたクライアントコンピュータでのみ使用することができます。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent

また、お客様は、対象プログラムにおいて「Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション」を使用して作成したフォントデータにつき、第三者に使用させることはできないものとします。

[クライアントライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

【V10.0.0】

[サーバライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) お客様は、対象プログラムにおいて「Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション」を使用して作成したフォントデータを、以下の製品の使用許諾されているコンピュータならびに当該コンピュータにネットワーク接続されたクライアントコンピュータでのみ使用することができます。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent

また、お客様は、対象プログラムにおいて「Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション」を使用して作成したフォントデータにつき、第三者に使用させることはできないものとします。

[クライアントライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

1. WSMGRと連携して、グローバルサーバ上の外字、および印刷資源を管理サーバへ流通する場合

- ・ Windows Server 2022の場合

通信制御サービス(64bit) V9.3以降、WSMGR(64bit) V9.3以降、WSMGR APIオプション(64bit) V9.3以降

- ・ Windows Server 2019の場合

通信制御サービス(64bit) V9以降、WSMGR(64bit) V9以降、WSMGR APIオプション(64bit) V9以降

- ・ Windows Server 2016、Windows 10(x64)、Windows 8.1(x64)の場合

通信制御サービス(64bit) V8以降、WSMGR(64bit) V8以降、WSMGR APIオプション(64bit) V8以降

グローバルサーバ上に、以下の製品が必要になります。

- ・ ADJUST V12L10 L95051以降
- ・ ADJUST UDCマネージャ連携 V10L10、または
SystemWalker/CharsetMGR V10L10(外字をアクセスする場合)

2. グローバルサーバのDRMS主導で、グローバルサーバ上の外字、および印刷資源を管理サーバに流通する場合

- ・ Windows Server 2022の場合

Systemwalker Centric Manager V17.0.0 以降

- ・ Windows Server 2019の場合

Systemwalker Centric Manager V15.3.0 以降

- ・ Windows Server 2016の場合

Systemwalker Centric Manager V15.2.1 以降

グローバルサーバ上に、以下の製品が必要になります。

- ・ ADJUST V12L10 L95051以降
- ・ DRMS V12

3. Interstage List Creator (PDF生成 / 閲覧) または Interstage List Works (リモート印刷機能) と連携して外字を部門サーバに配付・適用する場合

- ・ Windows Server 2022の場合

JEF拡張漢字サポート V9.3.0

JEFゴシックフォント V3.1L10

- ・ Windows Server 2019の場合

JEF拡張漢字サポート V9.0.0

JEFゴシックフォント V3.1L10

- ・ Windows Server 2016の場合

JEF拡張漢字サポート V8.0.0

JEFゴシックフォント V3.1L10

4. 日本語資源管理で「Windows JEF 明朝フォント」、「Windows Unicode-JEF明朝フォント」または「Linux JEF拡張漢字フォント」のフォントシステムを使用する場合

- ・ Windows Server 2022の場合

JEF拡張漢字サポート V9.3.0

- ・ Windows Server 2019の場合

JEF拡張漢字サポート V9.0.0

- ・ Windows Server 2016の場合
JEF拡張漢字サポート V8.0.0

5. 日本語資源管理で「Windows JEF ゴシックフォント」、「Windows Unicode-JEFゴシックフォント」または「Linux JEFゴシックフォント」のフォントシステムを使用する場合

- JEFゴシックフォント V3.1L10

6. 資源配付連携を使用し、管理サーバ上の外字、および印刷資源を部門サーバへ流通する場合

- ・ Windows Server 2022の場合
Systemwalker Centric Manager V17.0.0 以降
- ・ Windows Server 2019の場合
Systemwalker Centric Manager V15.3.0 以降
- ・ Windows Server 2016の場合
Systemwalker Centric Manager V15.2.1 以降

7. 日本語資源管理で「Windows OASYS TrueTypeフォント」のフォントシステムを使用する場合

- ・ Windows 11、Windows 10の場合
OASYS V10

8. 日本語資源管理で外字データライブラリ連携ダイアログボックスから文字を登録する場合、または日本語資源管理で外字データライブラリからの登録コマンドを使用して文字を登録する場合、または日本語資源管理で文字パターンチェックコマンドを使用する場合

- ・ Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション (64bit) V10

9. Charset-Web入力で、住所・氏名辞書を利用する場合

- ・ Interstage Charset Manager 住所辞書オプション (64bit) V10
- ・ Interstage Charset Manager 氏名辞書オプション (64bit) V10

10. バリデーションライブラリ/Converter ライブラリのJavaインターフェイスを使用する場合

以下のいずれかのJava(64bit版)が必要です。

- ・ 富士通製Java 8
- ・ Oracle製Java 8、またはJava 11

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

3. Windows クライアント (64-bit)上での動作

クライアント機能については、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

4. クライアントライセンス(入力機能付き)の適用について

クライアントライセンス(入力機能付き)の入力機能を利用する際には、クライアントPCで使用する日本語入力方式(IME)を本商品で提供する入力機能(Charset-入力アシスト)に切り換えて使用する必要があります。

入力機能(Charset-入力アシスト)でサポートするキーボードは「日本語キーボード」のみです。

5. Windows Server の外字ロードサービスについて

Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022では物理コンソール(セッション0)にログインできなくなり、一緒に処理していた外字のロードも行われなくなったため、サービスで外字を利用できなくなりました。

この問題に対応するために、本製品では、セッション0で外字をロードする外字ロードサービスを提供します。

ただし、本サービスを利用する際に、以下の注意事項があります。

- ・外字を利用する他のサービスより先に起動する必要があります。
- ・外字を利用するサービスは、本サービスと同じユーザアカウントを使用してください。
- ・本サービスを起動中に、他のアプリケーションなどで本サービスと異なる他のユーザプロファイルを指定し、外字をロードした場合、他のユーザの外字がロードされてしまいます。外字を利用するユーザは一つに決めて運用するようにしてください。

6. Windows Server での外字の移入について

外字ロードサービスにより外字がロードされている場合、または複数セッションで使用され、かつ、外字がロードされている場合、外字の適用を行うと更新エラーとなり、外字の移入ができません。

このため、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022で外字の移入を行う場合は、再起動後適用の指示を行うようにしてください。

7. クライアントOSにおけるサーバ機能の利用について

クライアントOSでの利用は、資源配付機能を使用しない場合でのみ利用可能です。

8. 資源配付機能でIPv6アドレスを使用する場合

IPv6で通信を行う場合、IPv6/IPv4デュアルスタックで利用してください。

9. Windows Server 2019、およびWindows Server 2022での利用について

ディスクのクリーンアップタスク (SilentCleanup)は、環境変数 %TEMP% や %TMP%に設定されているフォルダ(以降、TEMPフォルダ)を削除することがあります。

TEMPフォルダが削除された場合には、本製品の機能利用時に作業フォルダや作業ファイルへアクセスできず、処理に失敗する場合があります。発生する事象の例は以下のとおりです。

- インストールが失敗する
- 外字を扱う機能の実行に失敗する
- GUI操作で[ヘルプ]を選択してもヘルプ画面が開かない

上記の事象が発生した場合、TEMPフォルダが削除されていないかご確認ください。

TEMPフォルダが削除されている場合には、OSに再ログインしTEMPフォルダが存在することを確認してから再度操作を実施してください。

または、必要に応じてディスクのクリーンアップタスクを無効化するなどの対処を実施してください。

本事象の回避方法および詳細な情報については下記URLを参考に対処してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2019/>

10. 前版との差異について

V10.1.0より、クライアント機能では、以下のOSでの動作はサポート対象外となります。

- Windows 8.1(64-bit)

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage Charset Manager）**
本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/charsetmgr/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>